



The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF

TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
〒 662-0977 西宮市神楽町
5-23
西宮 YMCA 内
Tel (0798)35-5987



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2023年9月会報 第417号

主 題 ・ 標 語

国際会長(IP)

Urlik Lauridaen (Denmark)

主 題 “Let Your Light Shine” 「輝かそう、あなたの光」

スローガン “Good Communication Is the Cornerstone in Every Cooperation”

「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」

アジア太平洋地域会長(AP)

Keiko Tonegawa (Japan)

主 題 “Be the light for change 「変革のための光となろう」

スローガン “Shine and empower through fellowship 「親睦を通じて輝き、力を得よう」

西日本区理事(RD)

深谷 聡 (名古屋クラブ)

主 題 「未来に灯そう(ともそう)きぼうの光」

副 題 「互いに認め合う 世界の友」

六甲部長

井出 浩 (神戸クラブ)

主 題 「YMCAとのさらなる協働を目指して」

宝塚クラブ会長

石田由美子

主 題 「楽しくなければワイズじゃない！」 No enjoyment ,no Y's life

今月のテーマ : EMC YES

メンバーと入会候補ゲストのために魅力ある例会を開催しましょう。

YES はワイズ拡張サポートです。

理解を深め献金に繋げましょう。

EMC事業主任 大森 夏彦 (京都パレス)

2023年9月例会(ハイブリッド)

日 時 : 2023年9月13日(水)18:30

場 所 : 宝塚西公民館

会 費 : 1500円

ドライバー 福田宏子 若林成幸

開会点鐘 石田由美子会長

ワイズソング 全 員

聖書朗読・祈祷 加藤光信

ゲスト・ビジター紹介 会 長

会 食

お 話

NPO 法人宝塚生涯学習研究会

倉橋滋樹さん

「宝塚の明治、大正、昭和、」

各委員会報告

YMCA報告

誕生日のお祝い 会 長

ニコニコファンド

閉会点鐘 石田由美子会長

2023~2024 役員	会 長 石田由美子
	副会長 武田寿子
	書 記 福田宏子
	会 計 小林康男、郡家学
	会計監査 加藤光信、若林成幸
	担当主事 橋本唯
	メネット連絡 小林貴美子
	直前会長 小林康男
9月 誕生日	石田由美子(1) 橋本 唯(15) 福田宏子(29) 加藤富美子(23)
8 月	例会出席者数 22名(ズーム7名) 在籍会員数 17名 出席会員数 12名(ズーム1名) 出 席 率 70.5% メイクアップ(内数) 0名 メネット・コミット・孫メット 2名(ズーム0名) ゲスト・ビジター 6名(ズーム5名) 例会充足率 129.4%
実 績	アソシエイト会員 2名(ズーム1名) にこにこBOX 3,400円 累 計 11,400円 ファンド(たかラムネ) 3,600円 累 計3,600円 (真菰茶) 9,250円 累 計9,250円 ファンド合計 12,880円

聖 句

あなたがたも聞いているとおり、『隣人を愛し、敵を憎め』と命じられている。しかし、わたしは言うておく。敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。あなたがたの天の父の子となるためである。父は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださるからである。

(マタイによる福音書 5:43-45)

随 想

先日、辻建先生が最後に牧された周防大島教会で説教しました。山口県の周防大島はハワイ移民の歴史からフラ(ダンス)が郷土芸能のように盛んです。ここで毎夏開催されるフラフェスティバルに神戸から参加されていた、ある指導者の方の追悼1周年記念礼拝でした。

広島出身のこの方は、戦争・原爆という時代的不条理、父親の不在という世間的不条理の中に幼い日々を過ごされましたが、母に連れられ通った教会で、幼な心にもイエスの福音のメッセージに救われたといえます。しかし家族と共に不義の父を憎むことができず、教会の仲間と共に不正な社会を憎むことが出来なかったこの方は、やがて教会から離れて行かざるを得なかったのです。

ところが 40 歳を越えてからたまたまフラ(ダンス)に出会い、フラ(ダンス)指導者としての研鑽を積む中で、改めてご自分の人生と信仰に向き合われたのでしょうか。あるアメリカ人宣教師の導きにより洗礼を受け、キリスト者となりました。

生前書かれた手記の中でこの方は、ご自分の人生を一変させたフラ(ダンス)との出会いの意味を、誰もが知る「アロハ」という言葉で説明しています。ハワイ語のアロハは広い意味をもつ言葉だそうですが、それをこの方は「神様の息のかかる場所で」「その愛の中に生きる」と表現しています。

フラ(ダンス)を踊るのは、このアロハの心を生き、伝えることだと言うのです。そしてアロハは「困難や不正に直面しても逃げたり、怒りに捕われて憎み返したりしないで、もっと良い解決を引き出すパワーだ。…快活さを失わないで、謙虚に、優しい気持を持ち続けてと呼び掛ける。」と書いておられます。

まさに、「悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせて下さる」天の父の愛を信じ、その中で「敵を愛し」生きること、そのものです。このイエスの福音のメッセージの「肝」はどこにあるのか、それをこの「アロハ」の心が改めて思い返させてくれたのではないのでしょうか。やはり「義」だけでは足りない。「義」を超越する「愛」こそが人を生かすのです。

この方にとっても、また私たちにとっても、最重要メッセージに他なりません。

金田俊朗

8月第1例会報告

8月9日18時35分司会進行小林ワイズ,開会点鐘石田会長にて始まりました。続いて青柳ワイズの聖句朗読,石田会長よりゲストスピーカー&ズーム参加2名(八代クラブ&金沢クラブより)の紹介があり会食に入りました。19時より若林ワイズよりゲストスピーカー足立 勲氏のプロフィールと今期当ワイズ課題の一つ,地域自然環境へのソースとして、『逆瀬川の自然に学ぶ』を講演紹介の後足立氏の親しみある分かりやすい内容で講演して頂きました。



逆瀬川の名前等々の由来から石積流路工(鎧済み)を取り入れた特徴ある河川であり、その中で外来生物・植物の向き合い方、対処法、地域役所との関わり方と、質疑応答を含めて1時間半かかり、その後当月誕生者祝3名。

多胡ワイズ :ファンダタカラムネと次回案、10月5日から10月9日開催予定のすべての人の作品展ふらす行事に宝塚ワイズメンズクラブは協力

石田会長 :交流事業報告。青柳氏:六甲部メネット委員長としてベルマーク箱を常時常設のお知らせ。

多胡ワイズ :西谷畑状況。

若林ワイズ :19回市民チャリティ X'mas12/22 報告。

石田会長の閉会点鐘。足早にかたづけを含めて21時に無事終了

郡家 学

8月第2例会報告

日 時: 2023年8月16日(水) 18:30~20:45

会 場: 宝塚市西公民館

出席者: 青柳、小林、郡家、武田、多胡、長尾、若林、石田、福田h

議 題

1. 9月以降の例会ゲストスピーカー、フライヤー作成

9/13 第一例会:スピーカー:①倉橋滋樹氏(宝塚の歴史等)

②FM 清水氏:第2回すべての人の作品展ふらすに関するPRを例会時にしてもらうことを依頼。

10月9日:宝塚市国際・文化センター・ギャラリーのPR

2. 評議会での継続審議について ① 西日本区理事輩出基金設立の件

② 評議会成立要件の内委任状の採用を承認
今回は討議せず

3. 各部部会

六甲部部会 9/30(土) 13:00~14:30 EMC シンポジウム:大森夏彦氏
15:00~18:00 部会(セレモニー、アトラクション、懇親会)
11,000 円 締切り 9/09

その他

4. 山口政紀さん追悼会 9/16(土)14:00~15:30、イエス団賀川記念館、締切り 8/31
5. 六甲部ローンボウルズ 10/07(土)9:00~12:00 しあわせの村 締切り 8/25、宝塚クラブ参加者無し
6. ブリテン 例会報告寄稿者の確認。その他は各種会合の記録写真をもとに自主的に寄稿をする。
7. YMCA なし
8. 10月5日~9日 開催予定の第二回全ての人の作品展ぶらすの行事参加に関して(多胡)
宝塚クラブは8日「大空でつながる」夙あげに参加予定

9. 市民クリスマスの進め方

日時:12月22日(金)開演:18:30 場所:宝塚ベガホール
第一部:「みんなでクリスマスを祝おう」 第二部:「朗読と音楽で綴るクリスマス物語」
練習:9月29日より10回開始予定

10. 逆瀬川の自然環境を守る取り組みの進め方:

第1例会の講話:足立勲氏「逆瀬川の自然を学ぶ」をもとに今後の取組を協議した。その結果、
① クラブの現状に鑑み、実力相応の CS 活動と位置づけ、自然保護活動に協力することとした。
② EMC としては、11 月または来年に、友人、知人、地域の方への“OPEN 例会”を開催の案
例:講師:落語(笑福亭 学光) 謝礼:2 万円 ⇒11 月開催案は会場が確保できず延期

11. その他

- ①吉田早苗さん にお花を届ける
- ②アソシエイト会員の方に手紙を出す:感想、ご意見を伺う(すでに会長送信済)

12. 六甲部メネット委員会:9/01 芦屋モンテメール(2F)12:00 より

スピーカープロフィール

倉橋滋樹



1951 年(昭和 26 年) 香川県高松市に生まれる。
1974 年(昭和 49 年) 関西学院大学 社会学部 卒業。同年 宝塚市役所 入庁。
主に広報、文化関係の各課を歴任。図書館副館長や観光文化課長を経て人権文化センター所長で定年を迎えた。定年後は西公民館の館長も務めた。また定年後 2018 年に「NPO 法人宝塚生涯学習研究会」を仲間達と作る。
2005 年の図書館副館長時代、共著『少女歌劇の光芒』を出版。
令和 3 年には「宝塚の塚から TAKARAZUKA へ」という図書を、自費出版。
本の中身は明治から大正期にかけての宝塚地域の出来事を掲載した新聞記事や広告から、当時の宝塚の街の様子を探ったもの。箕面有馬電気軌道株式会社の、有馬への途中駅として始まった宝塚が、ターミナル駅に変貌、終点に誕生した集客装置、宝塚新温泉の余興として生まれた「宝塚少女歌劇」が大ヒットし、宝塚の街は豊かに変わっていった、その過程を編年でまとめたもの。

六甲部合同納涼例会

2023 年 8 月 5 日(土)15 時から三宮のニューミュンヘン神戸大使館で開催され 58 名の参加で久しぶりに賑やかな交流が出来ました。学生時代から同じ場所にある「大使館」は唐揚げが名物です。ずっと変わらない存在はなんだかホッとします。

4 年前同じ場所で開催した時は 80 名以上の大人数でしたが今年はこの災害レベルの暑さのせい、みんなの加齢のせい、空間が目立ち少し淋しい感じがしました。

その中で西日本区直前書記の上村眞智子ワイズが熊本から参加、華やかさが一層増しました。宝塚クラブからは小林夫妻、青柳、多胡、石田の 5 名の参加でした。



石田 由美子

I PRAY2023 公演に再び感動！

8 月 4 日夜、第 28 回平和創作劇・ミュージカル「I PRAY2023」が広島市のアステールプラザ 中ホールで開催され、お祝いと 5 月宝塚公演の返礼を兼ねて鑑賞に行ってきました。平和記念公園に近いホールには出演者の家族・お友だち、広島クラブ、YMCA に連なる 40 人程の海外からの研修生と一般客などでほぼ満杯状態でした。プログラムは、沖縄出身のポピュラーシンガーによる軽快な歌声が会場を満たした後、舞台は暗転、第 2 部「IPRAY」の開演となりました。厳しい暑さを乗り越え、稽古を重ねてきた少年少女達の懸命の舞台が繰り広げられました。宝塚公演より多くの子ども達が出演していましたし、新しい歌が挿入されました。主役たちは見覚えのある高校生たちで、私もつい前のめりになって舞台に巻き込まれていました。折角の機会だったので広島在住の幼なじみを招待しましたが、彼も初めて見る子ども達の演技に感動と勇気を与えられたと喜んでくれました。

公演が終わり、木原世宥子さんにお祝いを伝え、宝塚クラブのラムネ菓子を渡し記念写真を撮りました。後日、嬉しい感想文が届きました。その中から 3 人の感想文を掲載させていただきます。



右端は直前西中国部部长 金子ワイズ

(石川小尋 小 5 年生)『今年で 5 年目になります。年々思いが強くなり戦争は絶対にしてはいけない。命は尊くて大切なもの。この 2 つを身体全体で伝えたいと思って練習には休まず参加すると決めていました。いつも貴重な体験をありがとうございます。』

(木村加津沙さん)『今年は広島で G7 サミットも開催され、例年よりさらに強い気持ちと思いで舞台に臨みました。本公演の前には宝塚市でも公演させて頂き、後にも公演を控えております。広島だけでなく、日本中へそして世界の多くの方々に IPRAY を通じて、「戦争のない世界に、平和への願いと優しい笑顔が溢れる世界が広がるように…」という想いを伝えていけるよう、みんなで頑張ります。これからも応援よろしくお祈りいたします。』

(沖野有紗さん)『舞台上で涙が止まりませんでした。あの苦しみと悲しみを二度と繰り返さないようにという願いが伝わるように演じ、歌い、明るい未来を確信して踊りました。核兵器のない世界を心から願い続けます。』

若林成幸

宝塚は今も素敵な仲間の街で

ワイズリー、西村隆夫(タイ・チェンマイクラブ)

短期の一時帰国中で、関東から関西に移動し、我が実家の宝塚の両親の墓参り(長尾山霊園)をする予定を、宝塚ボーイスカウトの後輩で土佐堀クラブの岡野ワイズに連絡したら、さっそくに、宝塚クラブでやはり元

ボーイスカウト(尼崎)の長尾ワイズと、フラダンスの石田ワイズと調整をしていただき、急遽ランチを御一緒する事ができました。感謝!

4年?ほど前にも4人で一杯やったのですが、今回は武庫川沿いの、美味しいラーメン工房”あ”で開催していただき、サプライズは岡野ワイズの奥様、瑞恵さんの参加と、やはり元宝塚ボーイスカウトの後輩で元土佐堀クラブの道関さんも参加でした。岡野君の娘さん、日和ちゃん(さん)は今回は部活で不参加でしたが今までも家族で色々と海外大会に参加された時にお会いしていましたが、ここ近年はコロナ禍もあり、お目にかかる事はなく、素敵なサプライズ、ランチ例会で、あらゆるテーマを本当に皆、しゃべり倒した3時間のランチ例会でした。(非公式)でした。翌日は台風で京都でパレスの大野さん達お仲間にお会い出来ず残念でしたが、翌日に無事出発しチェンマイに戻る事が出来ました。来年の夏、8月8日~11日にチェンマイクラブが IC24(ワイズ国際大会)をホストする事になりましたので、宝塚クラブや日本のワイズの皆さんにも多数ご参加頂きたいと思っております。





【YMCA ニュース】

2023 年度第 1 回 YYY フォーラム「市ヶ原わいわいハイキング」

■日 時:9 月 23 日(土)9 時~11 時 30 分

■申 込 期 間:8 月 15 日(火)~9 月 15 日(金)

■お申込み方法:ご案内(チラシ)の二次元バーコードもしくは Google フォーム
(<https://forms.gle/qh4b5iN12W7m9e8N7>)よりお申込みをお願い致します。

【YYY フォーラムとは…】

YMCA、ユース、ワイズメンズクラブが、相互に支援や協力を行う具体的な可能性を考える場等として、発題(講演・プレゼン)・発表・分団などの内容で毎年開催されてきました。2017 年度の開催の後は、様々な見直しや、コロナなどがあり、実施できていませんでした。2022 年度、ユースの参加が減少していた状況を受けて、形を新たに実施されたのが、「市ヶ原わいわいハイキング」です。今年は、これを継続して実施していこうという主旨のもと、以下のように目的を掲げ 2 回目として開催致します。

【目 的】

- 1.YMCA の楽しさを味わえるコミュニケーションの場を提供する。
- 2.プログラムを通してユース・ワイズ・YMCA のつながりを感じられる機会とする。
- 3.ユース職員が気軽に参加できるプログラムを提供する。

連絡主事 橋本 唯

編集後記

今年も夏の風物詩の花火大会も終わり、夏も終わりかと思ったら、まだまだ暑い日が続きます。8月31日は「スーパーブルームーン」でした。そして9月1日の朝は秋に気配を感じる「うろこ雲」を発見しました。しかし、昼間の暑さは変わりません、健康に気を付けて下さい。

長尾 亘

